

漁海況情報

平成20年4月16日 第2号(通巻361号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

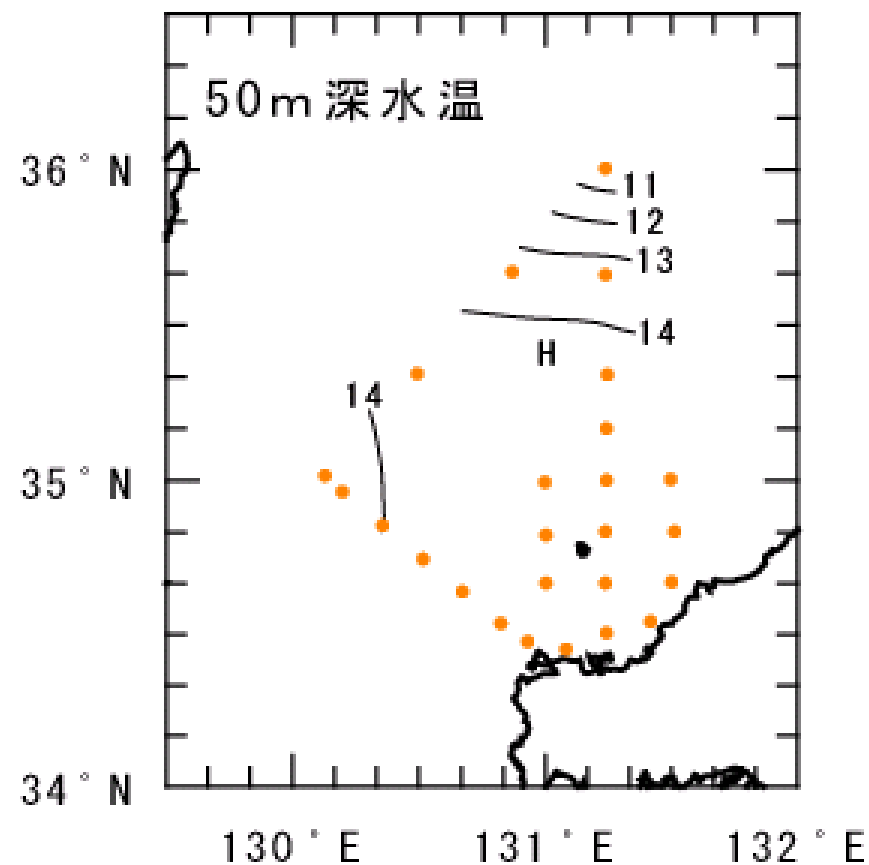
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

くろしおによる海洋観測速報

4月14～16日にかけて、漁業調査船「くろしお」で定線観測を実施しましたので、その結果をお知らせします。

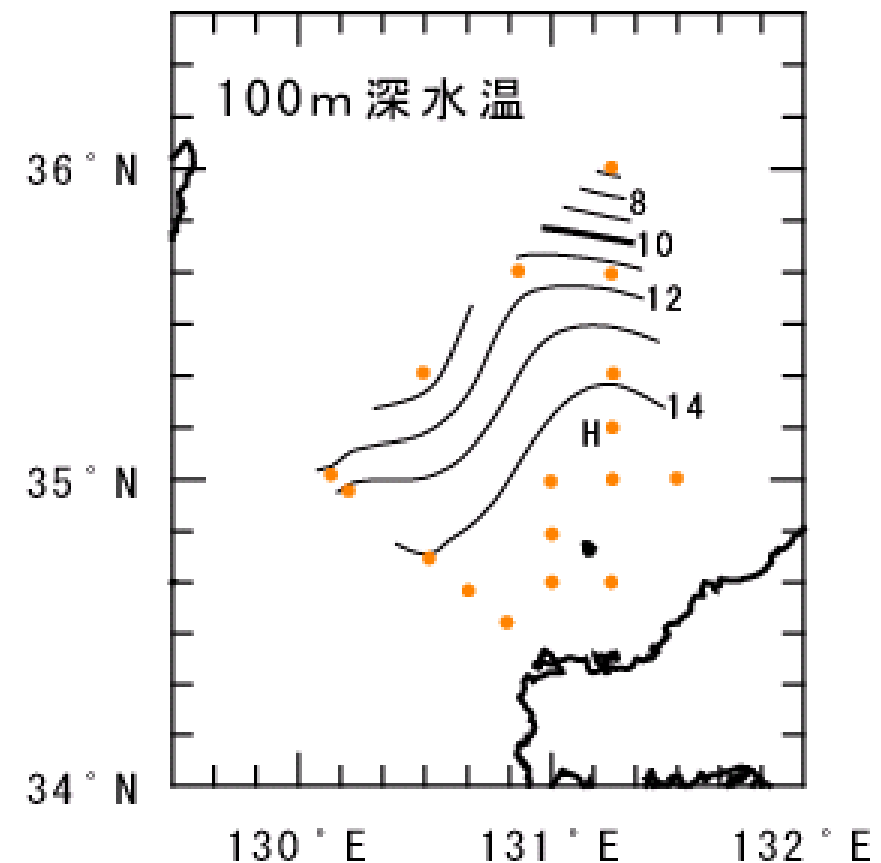
【50m深の水温分布】

北緯35°30'以南は14台で、北緯35°30'以北は10～13台でした。見島から沿岸はやや高め(+0.7)で、見島から沖合においては平年並み(+0.4)でした。



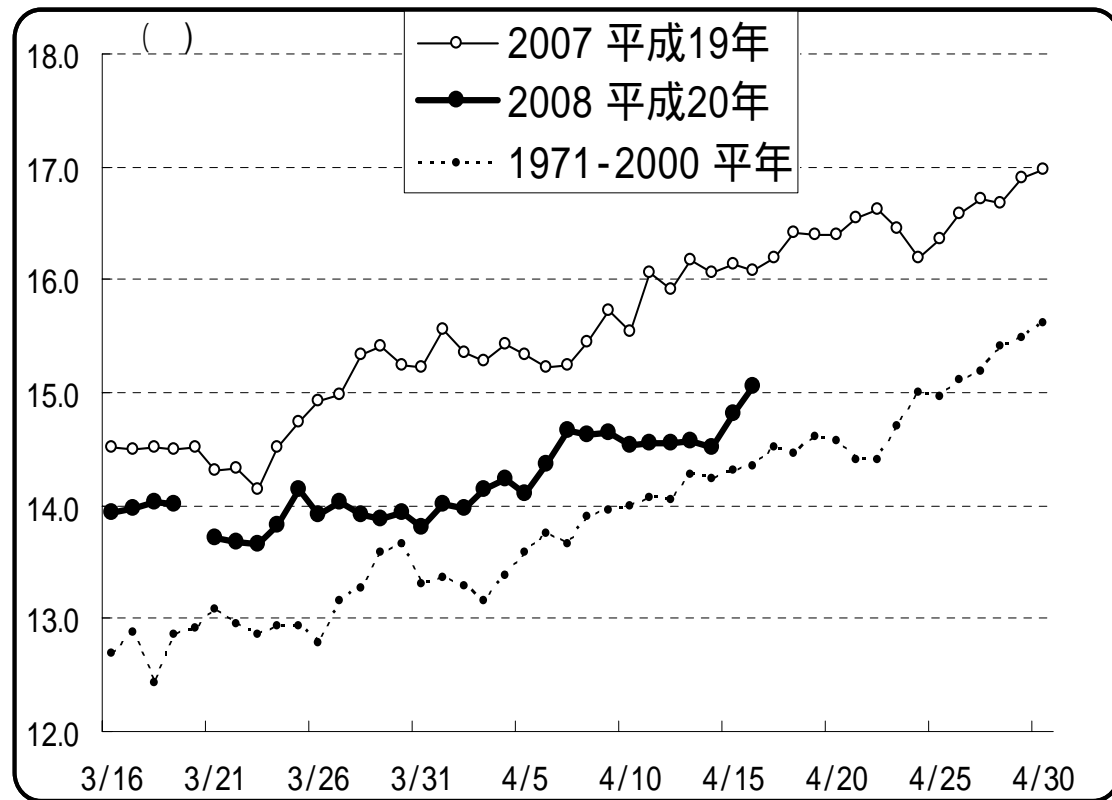
【100m 深の水温分布】

北緯35°10'付近を境にして沿岸側が14台、沖合は冷水域の影響を受け6～13台でした。見島から沖合では、平年並み(-0.7)見島から沿岸域は、やや高め(+0.9)でした。



【萩 - 見島フェリー観測の表面水温】

4月16日の萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表面水温は、15.1 で、前年に比べ1.0 低め、平年に比べると0.7 高めとなっています。3月16日以降は、前年を下回り、平年を上回って推移しています。



萩NNW15マイル沖表面水温の推移(3月16日以降)

【平成20年度第1回日本海海況予報】

(平成20年4月9日、独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所発表)

山口県～北海道までの13機関、漁業情報サービスセンター、水産庁資源生産推進部漁場資源課で検討した結果から、本県に関係ある部分を抜粋しました。

今後の見通し(平成20年4月～6月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域はほぼ停滞する。
- (2) 島根沖及び山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は「やや高め」で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも「やや高め」で経過する。

「やや高め」: 約4年に1回の出現頻度である1 程度の高さ。